

オーストラリア北西大陸棚における探鉱鉱区権益の取得について

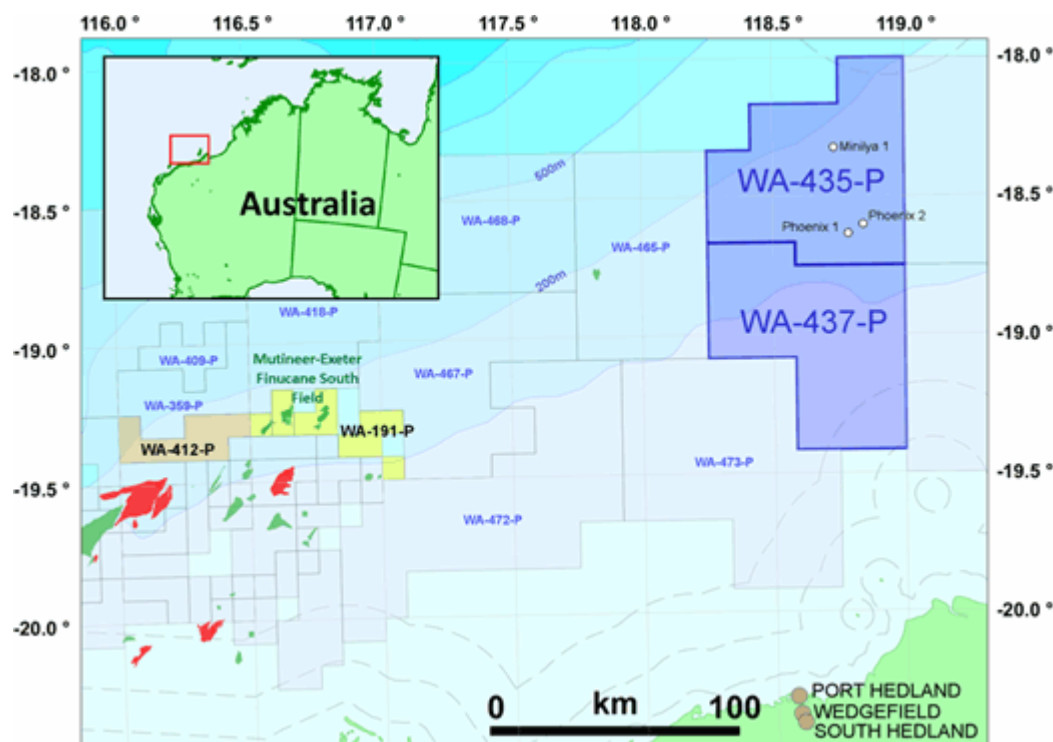
当社(社長:平井 茂雄)が100%出資する豪州法人JX Nippon Oil & Gas Exploration (Australia) Pty Ltd(社長:飯田 信康、以下「JX オーストラリア」)は、ファインダー・エクスプロレーション社(以下「ファインダー社」)およびカーボン・ペトロリウム社(以下「カーボン社」)から、オーストラリア北西大陸棚海域の探鉱鉱区「WA-435-P鉱区」および隣接する「WA-437-P鉱区」の権益の20%をそれぞれ取得することとなりましたのでお知らせします。

本鉱区では、天然ガスの埋蔵が期待される2つの地質構造の存在が確認されており、今後の探鉱作業として、まずWA-435-P鉱区において2013年中に試掘井1坑を掘削する予定です。

当社は、オーストラリア北西大陸棚海域において、生産中のムティニア・エクセター油田や、2013年下期の生産開始に向け開発中のフィヌケイン・サウス油田など、石油・天然ガスの生産・探鉱活動を積極的に推進しております。今後も石油・天然ガス開発事業の着実な拡大に向けて、一層の努力を続けてまいります。

【新規取得鉱区の概要】

1. 鉱区名	WA-435-P	WA-437-P
2. 鉱区面積	約4,955km ²	約4,855km ²
3. 権益比率 (両鉱区とも同比率)	JXオーストラリア(20%) アパッチ社(40%) (オペレーター) ファインダー社(20%) (譲渡前:30%) カーボン社(20%) (譲渡前:30%)	



取得鉱区の位置

以上